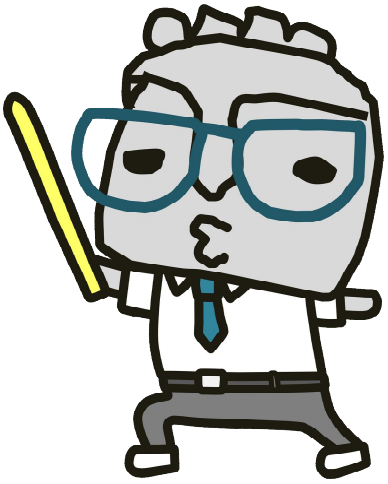
資料２

これから

「小中一貫校」の設置の検討

これまで臼杵市が行ってきた「小中一体教育」を
学校や地域の実情に応じて深化・発展させ、
更に魅力ある学校に

新たな配置計画を踏まえ、
施設設備の整備や改修を
視野に入れて検討

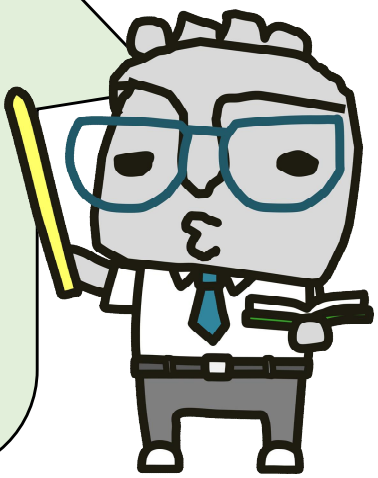


これまで

臼杵市が進めてきた「小中一体教育」

【北ブロック】	【南ブロック】	【西ブロック】	【東ブロック】	【野津ブロック】
北中学校	南中学校	西中学校	東中学校	野津中学校
①佐志生小 ②下ノ江小 ③海辺小 ④下北小 ⑤上北小	①臼杵南小	①下南小 ②市浜小 ③福良ヶ丘小	①福良ヶ丘小 ②臼杵小	①川登小 ②野津小 ③南野津小

臼杵市が進めてきた「一体教育」です。
これは、小学校・中学校の縦のつながりだけでなく、中学校ブロックごとの横のつながり（学校同士や家庭・地域との協働）を意識して行う教育実践です。
子どもの教育に関わる人々が、まさに一体となって進める臼杵市の教育の基盤です。
各ブロックの特徴や強みは何かをそれぞれが考え、それを生かした教育実践をしています。



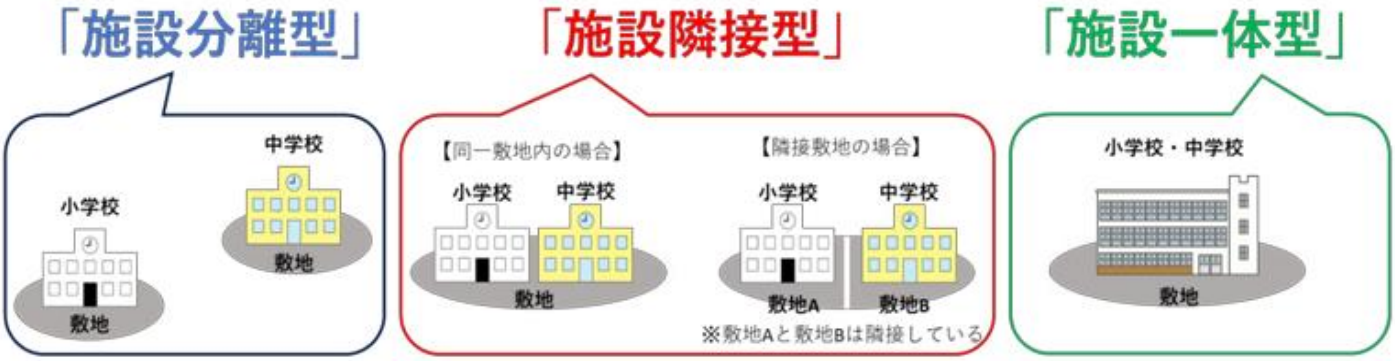
＜用語の説明＞

小中一貫校:

小・中学校段階の教員が目指す子供像を共有し、9年間を通じた教育課程を編成し、系統的な教育を目指す教育を行う学校です。組織上独立した小学校及び中学校が一貫した教育を施す形態で、それぞれの学校に校長、教職員組織があります。

小学校と中学校の校舎の設置状況により、**「施設分離型」**や**「施設隣接型」**や**「施設一体型」**と呼ばれる形態があります。

【施設形態は、「小中一貫した教育課程の編成実施に関する手引き（H28.12.26 文部科学省）」を参考】



義務教育学校:

義務教育の段階である小学校から中学校までの9年間を一体的に管理・運営する学校です。一つの学校なので、一人の校長で、一つの教職員組織となります。

また、9年間の区切りを5－4年、4－3－2年に区切る（ユニット制）など、学校ごとに異なります。

これまでの臼杵市の「小中一体教育」は
「施設分離型小中一貫校」の教育と
ほぼ同じ内容と言ってよいものです。